

拾七工場の作業を開始致候當初に於ては九月末日迄に第拾七工場の工員にして入場者参拾名乃至四拾名に達し候はゞ先づ以て成效と存候ひしに日ごとく入場者を増し今壹日午前九時現在に於て入場工員實に貳百参拾参名に達し今日中には貳百五拾を算する様可相成社員、夜警言夫、桶工、樽工等を合し總員約参百四拾の人員を以て全能力を擧げ略平常通の作業を續行致すことを得申候之偏に各位御後援の賜と存じ厚く御禮申上候尚昨日附を以て別紙理由に依り四拾六名を懲戒解雇に百名を會社の都合に因り解雇致し凜乎として之を徹底せしむる覺悟に御座候間此上とも御援助被成下度御報告を兼ね不取敢御禮まで如此に御座候
敬具

合社の偽ビラより

一足先に

會社は、今、南盛堂で

野田支部 一工員と署名した二セの宣傳

ビラを印刷して居ます。其ビラの内容は、

今度の争議は及対だと書きはじめ、正宗は何うなと女忠臣蔵の談野が何うの、或は上杉謙信と武田信玄の戦の時謙信が何うしたとか云ふ例を引いて、此度の争議が幹部の不徳の爲に起きたと云つて、組合員が幹部に不信任を鳴らした如く書いてあるのであります。

其一節を抄録するならば、
「謙部の不信を責むる者があらうかと思はれた時、かたし心かた一人も居ない。何故にと云ふならは、一敏の組合